

第3回 南成瀬地区新たな学校づくり基本計画推進協議会 議事要旨

開催日時	2023年12月26日（火） 9:32～11:37	
開催場所	町田市立南成瀬小学校 2階 なんなるルーム（ウェブ会議併用）	
出席者 （敬称略）	委員	尾上委員、井伊委員、野口委員、福士委員、小山委員、沖委員、赤澤委員、田中委員、森本委員、○隅田委員、◎吉成委員、木原委員（◎会長 ○副会長）
	事務局	教育総務課、新たな学校づくり推進課、施設課、学務課、保健給食課、指導課、教育センター、児童青少年課
傍聴者	1名	

議事内容

1 第2回推進協議会の振り返りについて

新たな学校推進課（資料1-1～2 説明）

2 報告事項

（1）南成瀬地区新たな小学校の校歌・校章の作成について

新たな学校推進課（資料2-1～3 説明）

児童は学校の授業を活用しながら意見募集を実施しており、取組の様子などについて両校から報告いただく。

委員

南二小では、2学期に各学年、学級で、校歌・校章に対する思いや具体的なフレーズやデザイン等を、自由な形で子どもたちから酌み取るという取組をした。ワークシートを使いながら、各学級に即した形で取り組んだ。児童一人一人から出たものを羅列的に載せていたり、学年によっては全体で協議をして集約した形で幾つかに絞ったりしたものもある。1年生から6年生まで共通項が多い。最大公約数で選ぶことはしないが、子どもたちの思いの中にはすぐそばを流れる恩田川、その並木としての美しい桜、本校のシンボルツリーであるカエデ、それらが校歌にも校章にも思いやフレーズとして出てきている。また、抽象的なイメージとして、優しい学校、学校に元気に行きたくなるようなことを校歌や校章に込めたいという声もたくさんあった。取組を通して、学校や日頃の生活に対する思いや願いが改めて確認できた。このことを制作者の思いと繋ぎ、今後の授業の中でうまくバトンタッチをしていきたい。

委員

南成瀬小では、まず、音楽、図工の時間に両校の校歌と校章について学ぶ時間を設けた。本校や南二小の校歌や校章にどのような意味があるのか聞いたり見たりして考えた。町田市内の校章すべてについても、いろいろな校章があるということから導入をし、次に新しいものをつくるということで、アンケートを取り授業のほうを進めていった。子どもたちからは、恩田川、本校のシンボルツリーであるケヤキ、カワセミ、明るい学校、楽しい、そういった意見が多く出てきた。新しく校歌、校章を

つくるという授業をする中で、今までの校歌、校章を振り返り、こういう意味があるということも同時に学ぶことができ、とてもいい機会になった。これから制作者と関わりながら新しいものをつくるという機会を得て、自分たちの学校の校歌、校章をつくっていくという思いもまた高まった。

新たな学校推進課 (資料2-4 説明)

委員 交流授業について確認だが、学年は3年生以上という認識で合っているか。

新たな学校推進課 交流会に参加する児童は3年生以上だが、児童委員として関わるのは1年生から6年生まで。1、2年生は、その会には参加しないが、各学級活動で発表したりすることを想定して委員を選出している。

委員 この活動は、推進協議会だけではなくて、それぞれの学校からも様子を発信してもらうなどいろいろなチャンネルから広報してもらえると保護者としても情報をつかみやすいので、情報共有をしっかりとお願いしたい。

新たな学校推進課 広く知っていただけるよう、学校とも協力しながらPRしていく。

(2) 南成瀬地区統合新設小学校の校舎建設中の仮校舎(現南成瀬小学校)について

施設課 (資料2-5~6 説明)

委員 駐車場は、学童のところを含めて動線が長くなり利用者からクレームが来るだろう。新校舎を建てる際には、駐車場は学校の校舎や学童に近いところになるのか。

施設課 新校舎はPFIで行うことになっており、要求水準書において、学童や開放などと駐車場の動線はなるべく使いやすいように考慮することを指定している。仮校舎については、既存の学校のためスペース上の問題で動線が長くなったが、なるべく支障がないように舗装したり、夜間の利用を考慮して照明をつけたり、できる限りの対応は行う。

委員 資料2-6の参考図面に関してだが、この平面図では保護者を含めた一般の人にはイメージがつかないので、実際の写真、物理的な風景写真などをベースにイメージがつきやすいようにしてもらいたい。

施設課 了解した。

委員 Wi-Fiの設備についてお伺いしたい。現時点で家庭科室や第二音楽室はWi-Fiの設備が入っていないので工事していただきたい。

施設課 Wi-Fiの設備を設置する基準に沿って、Wi-Fiなどの機器は設置をしていきたい。今回の特別教室については現状のままとなっているが、新しく増築する少人数教室についてはWi-Fiの設備をつけるよう計画している。

委員 第二音楽室が「まちとも」としても利用するが、このままという考えか。

施設課 現時点ではそうなる。

委員 南成瀬小の改修にあたり、保護者組織の物品等をどう移せば良いかという計画を保護者組織として引き継がないといけな。そういうことがしっかり見えるように計画を立ててほしい。

全体的にWi-Fi設備自体が足りないのではないか。教室が増えると利用ユー

ザーも増えるので、設備をちゃんと増強するなどの対応をしてほしい。

施設課

保護者や学校のサポート活動をしている人たちの荷物やその移動については、学校と調整しながら日程等も検討しているため、現時点では具体的な回答が難しい。

統合にあたり普通教室が増える。増えた普通教室については、大型提示装置やWi-Fiなどの環境を他の教室と同じように整備する。特別教室については、他の学校も含めた中で同じ基準で設置しているので、まだ十分ではないと教育委員会でも認識しているが、なかなか対応が難しいと考えている。

児童青少年課

先ほどの「まちとも」のWi-Fiの件は、現状まちとも独自でホームルーターを導入している。児童の活用については調整が必要と考えている。「まちとも」に限らず現状を認識したうえで、工事や設計の段階で、新規の導入も含め課題解決が必要であるという認識はある。現場の声を聞きながら、それをどのように設計に反映していくについては、内部で調整中。今いろいろいただいた意見を踏まえて、今後の設備面や運用面についてスケジュールに沿って取り組んでいく。

委員

今の回答で不安になった。校舎内のWi-Fi設備だけではなく、児童数が増えるということはクロムブックで通信する数も増えるということ。であれば、学校から外に出るインターネット回線を倍増させないといけない。そこで詰まってアクセスができない、画像がダウンロードできない、授業の構成を組み替えれないといけない、というような事態が発生しないように、余裕を持った回線をプロバイダ契約などの面で確保してほしい。

施設課

ネットワーク関係については施設課が所管していないので、既存の施設でどれぐらいの容量に対応できているかなど、担当部署に確認して対応する。授業に支障があるようでは困るので、そのようなことがないように対応していくはずである。

委員

新しくグラウンドに建てる仮校舎のイメージが全く分からない。この建物全体、廊下と3つの教室を完全に囲ってしまうのか、両側にフェンスがあるのか、壁があるのか、雨のときはどうなるのか。出入口がここの廊下だけなのか、学童はどこから入るのか。

施設課

渡り廊下は屋根がかかり、側面については腰壁程度の壁が付く予定。ただ、すべて壁が付いていると通り抜けができなくなるので、何か所か廊下を通り抜けられるようにする予定でいる。出入りに関しては、体育館棟側の端に扉をつけ、そこから増築棟に出入りすることになる。図面に「廊下」と書いてある部分の両側に出入りできる扉はつくので、学童からの出入りに関しては、学童寄りの廊下の突き当りの部分に下駄箱のようなものを置き、そこから出入りする想定をしている。

3部屋ある教室は校庭側に窓がつく。校庭で球技をするとボールが窓に当たり割れてしまうおそれがあるので、校庭側には腰高の窓しかつけず、そこに格子のようなものをつけてボールから窓を守るようにしている。防球ネットをつけると校庭が狭くなってしまうので、そこを配慮し、渡り廊下の出入口の部分と上下の突き当り部分の3か所から、外への出入りをできる設計を考えている。

建物のイメージとしては、プレハブだが鉄骨造、平屋で、屋根は折板屋根というぎ

ざぎざの平らな屋根になる予定。

委員 実際の設備については設計しているところだろうが、既設のプレハブ設備から選ぶことになると思うので、建物のサンプル画像などの参考情報はつけられるはず。

施設課 了解した。一般的な仮設校舎のイメージが分かるような画像もこれから出していく。

委員 学校側としても、Wi-Fi環境はかなり厳しい。現在会議中のこの部屋もWi-Fiが届いていない、図書室も届いていない、家庭科室も届いていない、という状況。ドングルも少なくなってきたており、1クラスが使うとほかのクラスが使えなくなってしまう。一つの学校だけ整備することは厳しいとは思いますが、少しでもいい環境にしていただけるとありがたい。

少人数算数教室に行くのにかなり遠くなってしまうこと、特に雨の日や台風の日には心配。3年間は短くはないので、何とかうまくしていきたい。

委員 両校が一緒になるタイミングと増築の時期がずれる。しばらく空き教室があると思うが、各学校にある備品や歴史的なもので残しておきたいものを、一旦保管する場所が必要なのではないか。備品などを保管できるようなスペースを新たに用意してもらえるのか。それとも、工事する場所にある物品はどこか別の教室に引き上げ、工事が終わったらまた元に戻してということを経営し続けていかなければならないのか。保護者組織や「まちとも」などは備品も多く、予定を組んで物の持ち運びをしないでほしい。それを夏休みとか、長期休みに行うとなると、子どもを抱えている保護者たちも夏休みに学校に来て運び入れをするということになる。南二小からどれだけのものを持ってくるのか、それを全てこの学校に一旦収めることができる教室が残っているのか、その辺はどう考えているのか伺いたい。

施設課 両校の荷物については学校が精査しており、持っていくもの、新しい学校でも使うものを選別している。歴史的に残すものについては、協議会の中でも議論してきており、必要なものを残していくことになる。基本的に、それらを収めるためだけの倉庫だけを建てることは難しい。他の学校に比べると、南成瀬小は収納スペースが多くあると考えている。ただ、工事中に物の移動は必要になるので、工事もすべての教室を1度工事するのではなく、物のやりくりも含めた中で詳細な調整をしていく。

委員 当校の保護者組織は3月の末で役員任期を終える。役員は1年交代なので、なるべく早く示していただかないと、引き継げるものも引き継げなくなってしまう。

施設課 了解した。

委員 3階平面図の既存の表示でコンピューター室になっているところが新しい保護者組織の活動の部屋らしい。来年度の夏に、普通教室を含めてここを大がかりに工事して整備する。南成瀬小の保護者組織としては、その後、現在の活動場所から3階に物を移していく。保護者組織の準備会で今後どうするか話し合いを持たないといけなくなると思うので、南二小の保護者組織でも夏の工事が終わる時期がポイントになると思っていきたい。

施設課 音や振動が出る工事については、学期中はなかなか難しい。学校を運営しながら

工事をしなければいけないので、夏休み中に、そちらを最優先して中心的に工事していくことになる。最初の説明の中で3月まで工事すると伝えたが、平日はできなくても土日を使って工事をしていくということ。PTAの部分とか、子どもの使うスペースではないところについても、順序をいろいろ工夫はさせていただく。そうした中で、示せる段階の中でちゃんと示し、調整をさせていただく。指摘いただいた点は理解した。

委員 3か月以上前に連絡をもらわないと動きを立てられないので、その認識でお願いしたい。

(3) 新たな学校づくりに伴う学童保育クラブ及びまちともについて

児童青少年課 (資料2-7 説明)

委員 「まちとも」について、現在、南成瀬小学校での活動での児童の参加人数、平均や最大でどれくらいの参加か、南二小もどれくらいなのか。活動場所の教室は定員などの設備上の制限があるはずなので、そういった数値がいつぐらいに出てきて、実態が見えてくるとのがいつぐらいを予定しているのか。その計画を教えてください。

児童青少年課 放課後子ども教室「まちとも」については、部屋の基準を国や市で定めていない。現状、1教室、普通の教室だったら30人程度で見ている。また、校庭と教室と、その日によっては借りる部屋が増減するので、その積算を今後していくつもりである。今、南成瀬小、南二小、それぞれ1日1日の人数を月ごとに出してもらい、利用者数の確認は既にできている。今後統合したときに活動する部屋を確定していくために、これから調整をする予定でいる。

委員 学童クラブについて、2点伺いたい。今の事業者が延長ということで、今の敷地にある時点ではそのまま継続してもらえるとということだが、2025年には事業者が変わると聞いた。それぞれの学童で長く子どもたち見ていただいております、ルールとか、いろいろなソフト面での情報がかなり蓄積されていると思っている。どのように新たな事業者へ引き継いでいくのか。

次に、駐車場に関して。南二小は学童クラブが南側の校舎からかなり離れたところにあるため、学童を利用する保護者が学校の駐車スペースを使っていない。学童前の路上で一時停車してお迎えがあり、近隣の事業所の駐車場を無断借用している方もいて、学校から注意をしても徹底されない。学童事業者から注意や呼びかけをしてもらっていても、一時停車は改善されない。車の中に利用者がいて、子どもが一人で出ていってしまうことが懸念される。施設の建物の中まで保護者が迎えに行き、手を引いて車に行くという当然のことができるよう、新しい学校では必ず徹底していただけるよう、施設面も含めてお願いしたい。

児童青少年課 1点目の事業者が変わった場合の引継ぎだが、指定管理者制度において事業者が変わった場合も、前の事業者に雇用されていた職員の雇用の配慮ということはお願ひしてきたし、今後もしていく。その場合でも、職員の全員が変われるわけではない

ので、引継ぎ期間を設け、運営ルールや子どもたちの特性について、残している記録も含めて期間を設けてきちんと引き継いでいく。

もう1点の駐車場については、市から仕事をされている保護者の方なのでお迎えを必ずしてくださいとまではお願いしていない。どうしても車で迎えに来たいという場合は、近隣のコインパーキングなどに止めるようお願いしている。まずは子どもたちの安全なので、危ない実態について、そういったことはやめてくださいと市のほうから言っている。事業者のほうからも新しくクラブに入会をしたときの説明会などでもお願いしている。とはいえ、忙しい時間帯に、保護者の方は少しでも時間を短縮してお迎えに行きたいということも承知しているので、新しい校舎ではできるだけ利用をしてもらえようところに駐車場を配置できるよう、設計において検討していく。

新校舎の建設期間の3年間は、駐車場として若干使いにくいところもあるかと思われる。ほかの学校では、事業者の方が安全配慮というところで雇用できた職員に、交通整理をしてもらっているところもある。市としても、学校統合に伴い新しく対策として取っていくべきところ、できることを考えてやっていく。今の時点では具体的などころを明確に答えられないが、そういう認識はあり、進めていると理解いただきたい。

委員

資料2-6の図面で見ると、駐車場の位置と学童の位置にかなり距離を感じる。職員の加配等がこの3年間可能なのであれば、その間必ず事故ゼロを通したいので、実現に向けてぜひお願いしたい。と同時に、これまで両校で別々に行って新入生説明会は次年度統合ということで多分1か所に集約して実施される。現在の南二小の保護者は、南成瀬小学校の配置等について明るくないので、具体的にここが駐車スペースになって、動線はこう、必ずお子さんの手を引いてお帰りください、ということのアナウンスしてもらえると、さらによいのではないかと思う。

委員

南成瀬小では、現在、裏門のところ鉄製の非常に重たいスライドのドア（レール式の戸）になっており、レールから脱線してしまうと大人2人がかりで戻さないといけない。夜は開放団体も利用しているので、学童が使うようになると迎えに来た方が裏門を1回1回解錠して開けるのか。また、開放団体も利用する時間帯に共通の出入り口で大丈夫か、駐車面はただのコンクリートスペースでラインも何も引いていない状態だがそのまま大丈夫か心配。

施設課

門扉が重たい件については承知している。ただ、脱線となると危ないと感じるので施設の確認をして対応させていただく。駐車スペースについては、給食の搬入スペースであり、裏は砂利敷きということで線はないこと、開放でも車を止めることもあるのでそれらを考慮し、実際の運用については、開放団体も含めていろいろ調整をしていく。施錠、開錠をどうするかについても、どのような形が一番利便性が高いか、安全性も含めてどうするのがいいのか、学校とも相談しながら、児童青少年課や学童の運営の方々とも確認をしながら決定していく。

委員

「まちとも」は、現在、南成瀬小学校では2階にランチルームがあり、そこを「ま

ちとも」が使用している。その横に算数少人数室があり、1日に多いときで40名ぐらい、少なくて20名ぐらいだが、ここに両校が一緒になると、単純に考えてこの倍になる。50名、60名の人間を1教室に入れて何ができるか。第二音楽室が空いているとしても、ここに50名の子どもたちを入れて何ができるかとなると、ただ座らせているだけということになりかねない。

現在は、算数少人数室で宿題や勉強をして、ランチルームで内遊びをして、3時半ぐらいになると、授業の関係で校庭は空くので、外に出て遊んでいる。ただ、雨が降ると、外へ行けない。その場合は、体育館を使わせてもらっているが、体育館にも40名、50名が入って、ボールを持って走り回ったり、フラフープで遊んだりするのは、すごい人数で大変。第二音楽室をシェアすると言われても、「静かにしなさい」と言っても無理な状況。かなりにぎやかな声がある。隣で授業をしていると、授業の邪魔になってしまう。どうしても第二音楽室で勉強もする、内遊びもするとなると、もう人数制限するしかない。何曜日と何曜日は一、二年生に限るとか、高学年生は遠慮してくださいとなりかねない。

音楽教室に琴とかがあるが、それをパーティションで仕切ったとしても、子どもたちに触るなどと言ってもなかなか難しい。人員配置で内遊びは2名か3名で見ているが、その人たちに目を光らせてもらうしかない。なので、「まちとも」も、これからやってみなければ分からないが、人数があまりに多いと、入場制限とか、学年制限とか、雨のときには中止とか、やらないという制限をかなりかけてしまうので、「まちとも」本来の目的とはかなり違ったものになるのではないかと考えている。

児童青少年課

現在「まちとも」は各学校でやり方が異なっており、人数が違うとか使える場所が違うということがある。この先、部屋のある程度のイメージが固まり、場所や動線が固まってきた段階で、いろいろな学校のスタイルや進め方を紹介し、その中から選んでいただけるのか、新しい形がつかれるのかという相談をさせていただきたいと考えている。

(4) 荷物らくらく登校の試行報告について

新たな学校推進課 (資料2-8 説明)

委員

ランドセルに関して、今はランドセルという指定の方法ではなくて、「両手が空く」というように各学校から案内しているという前提でいいか。自分の娘のときは、教育委員会に確認して、ランドセルでという指定があった。今回の結果を受けて、後ろに転んだとしても頭が保護されるとかというランドセルのメリットと、重たいとか、高学年児とかはそもそも背負えなくなるとかというデメリットを整理して、周知していくということが大事と思う。

クロームブックについて、そもそも町田市が採用しているクロームブックは、重たいものしかメーカーとして出していないので、それを選んだという時点での制限があるということをして市として認識していたのか、反省も含めて真摯に受け止めてほしい。その上で、クロームブックを使った授業をどうすればいいのか、宿題をどう出

せばいいのかと、教職員側の立場に立って継続的に検討していただきたい。そのうえで、子どもたちはクロームブックをいつ持って帰ればいいのかということを整理していけばいいと思うので、継続して検討いただきたい。

委員 クロームブックは重い。そして、充電も必要。市としては、クロームブックでの学習、宿題を推奨しており、そこでいろいろなせめぎ合いがあると思える。今後も、検討をしていかなければと思える。

(5) 児童の事前交流の実施状況について

会長 (資料2-9 説明)

(6) その他報告事項について

新たな学校推進課 (資料2-10 説明)

委員 路線バス乗り方教室に関連して、学区が広がるということは、友達の家に行く場合の子どもたちの活動範囲が広がるということを改めて認識した。2年生は子どもたちだけで自転車に乗って外に行ってはいけないというルールが町田市にはあるはずだが、日曜日に3人ぐらいの2年生が自転車に乗って遠くの公園のほうへ向かっているところを見かけた。バスを使うとバスで遠くに行ってしまうかということも含めて、今後それらリスクの拡大が見てとれた。3年生の安全教育を受けてからでないと、子どもたちだけでは自転車で行ってはいけないということの再周知も、学校、教育委員会、保護者側も含めて行っていくべきことと思う。バスの乗り方教室だけではなく、学区が広がることよっての行動の広がりという観点で改めて安全教育を検討いただけると助かる。

新たな学校推進課 今回の取組は、新しく路線バスを使って通学をする児童が想定されるからという観点で実施する。もちろんそれが全てではないので、安全教育自体は常に今も各校でもやっていただいている。統合で通学も変わることを踏まえ、どのような取り組みをしていくべきか学校と相談している。その中で、安全事項を周知することや、3年生の自転車教室を実施しており、引き続きそれは続けていく。

委員 自転車に関しては、南成瀬小でも安全教育として3年生で自転車教室をしていたり、市としてこういうふうになっているという周知はかけてきたりしているが、保護者側がよく知らないでいるという話も聞く。周知が足りていない、保護者側の認識が足りていない、両面があると思うので、市から保護者向けに手紙を配るなど検討いただけるといい。ヘルメットの支度もそうだが、自転車に乗れるのは3年生からということ認識していない親が本当に多いと改めて感じているので、そこは検討いただきたい。

委員 それは、協力依頼であって、絶対は無理だと思う。確かに3年生に、警察の方にも協力をしていただいて、全市的に自転車の乗り方教室を行っている。そこで確実に安全な乗り方というのを学校として全児童に周知徹底する。それを踏まえて、家庭でも乗っていく範囲、乗り方を話し合ってもらえればありがたいという、あくまで

も協力依頼のレベルであり、それを前提としてこれからも安全指導として徹底をしていくということを確認したい。

委員 協力依頼ということ自体を認識していない保護者が結構増えている。

委員 伝え方も含めて、両校で合わせていく。

会長 学校でも、交通事故が増えているということで、毎週のように話している。ヘルメットをかぶりましょうとか、自転車の乗り方についても話しているが、なかなか徹底できないというのが現状。なかなか保護者の皆様にも伝わらないというのが厳しいところと思っている。そういう現状を踏まえてこれからも安全指導に取り組んでいきたい。

3 検討事項

(1) 新たな学校への歴史の継承について

新たな学校推進課 (資料3 説明)

会長 ワークショップに入る前に、不明点や質問など確認したいことがあるか。

委員 何か所撮影が可能なのかおおよその数だけ補足願いたい。

新たな学校推進課 確定していないが、おおむね20か所程度を想定している。ただ、20か所にこだわることなく、撮影したい場所を議論してほしい。最終的に何か所撮るか、どこを選ぶのかは、学校との協議の中で決めていきたい。

[ワークショップ]

会長 撮影まで時間があるというので、今日出された意見だけでなく、今後子どもたちからの声も聞きながら、こんな工夫があればということのを思いついたら、学校や事務局まで意見を寄せていただきたい。

4 次回開催予定

新たな学校推進課 第4回基本計画推進協議会

2024年2月20日(火曜日) 9時30分 南第二小学校会場

会長 (閉会挨拶)